Pmda 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

医薬品&医療機器の相談にお答えします

この薬の**飲み合わせ**は大丈夫?

この薬の**副作用**ってどんなの?

ジェネリック医薬品は何が違うの?

この家庭用**医療機器の使用目的**って何ですか?

受付時間

9:00~17:00
月曜日~金曜日
(祝日・年末年始を除く)

全国のくすり相談窓口
患者・一般の方のためのくすり相談窓口が全国にあります。

患者向医薬品ガイド

重篤副作用疾患別対応マニュアル

くすり相談

医療機関・保険薬局で調剤された薬や市販薬等に関する相談

☎03-3506-9457

医療機器相談

コンタクトレンズや血圧計など家庭で使用する医療機器に関する相談

☎03-3506-9436

※相談は電話で受けております。

PMDAのホームページの「くすりQ&A」「医療機器Q&A」もご利用ください。

※相談の際に、お名前や電話番号はお伺いしませんが、業務統計のため、都道府県名や年齢(年齢層)を伺うことがあります。
※相談の内容については、個人情報に配慮の上、事例としてホームページ等において紹介されることがあります。

詳しくは 薬 相談 または 医療機器 相談 で 検索

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)は、医薬品、医療機器等の審査及び安全対策、並びに健康被害救済を通して、国民の皆様の健康・安全の向上に貢献しています。

No.3

こんなご質問をお受けしています

今飲んでいるくすりをジェネリック医薬品に変更したい時はどうしたらいいですか?

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。先発医薬品より安価で、効き目や安全性は先発医薬品と同等であり、欧米では幅広く使用されています。
ジェネリック医薬品を希望される場合は、かかりつけの医師や保険薬局(※)の薬剤師にご相談ください。特許期間中などの理由から、先発医薬品のみでジェネリック医薬品がない場合もあります。　※保険薬局とは、保険調剤を行う薬局のことです。

医師から処方されたくすり(医療用医薬品)を使用する場合、どんなことに注意したらよいですか?

医師・薬剤師から指示された用法、用量を守ってください。
くすりの中には、病状が改善しても継続して使用しなければいけないもの、再発を防ぐために長く使用しなければいけないものがあります。また、長期間使用してきたくすりを中止する場合、徐々に減量する必要があるくすりもあります。このため、病状が改善したからと自己判断で用量を変えたり、使用を中止してはいけません。使用中に気になる症状が現れた場合には、医師・薬剤師に相談しましょう。
重い副作用が発現する可能性のあるくすりについては、添付文書の内容から特に知っていただきたい事項をわかりやすく記載した「患者向医薬品ガイド」があります。くすりを正しく理解して使用し、重い副作用の早期発見などに役立つように作成されたものです。これもインターネットを通じて入手できます。

処方されたくすりの詳しい情報
(患者向医薬品ガイド及び
重篤副作用疾患別対応マニュアル)
はこちらをご覧下さい

市販のくすり(一般用医薬品・要指導医薬品)を使用する場合、どんなことに注意したらよいですか?

自分の症状によくあったくすりを選ぶことが大切です。選ぶときはパッケージに表示してある効能などの項を参考にします。ただし、治療中であったり、妊娠中、授乳中、くすりや食物のアレルギーがある、などの場合は、使用してはいけないくすりがあるので薬剤師などに相談しましょう。なお、使用に関し、特に注意が必要な、要指導医薬品や第1類医薬品を購入する際は、薬剤師から、適正使用のために必要な事項について説明を受けてください。
パッケージの中に入っている説明書(添付文書)には大事な注意が書いてありますから、読むくせをつけましょう。症状が改善しない場合は早めに医療機関を受診しましょう。

くすりの注意事項及び
重篤副作用疾患別対応マニュアルは
こちらをご覧下さい。

※ここに掲載したQRコードのリンク先は変更されることがあります。
サイトが正しく表示されない場合はPMDAくすり相談にお問い合わせください。

独立行政法人
医薬品医療機器総合機構
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル　http://www.pmda.go.jp/

くすりの使用方法、副作用、飲み合わせ、
ジェネリック医薬品(後発医薬品)等に関する相談
03-3506-9457
受付時間:月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)　午前9時～午後5時

GE03:2018年 3月作成
2019年 8月更新